

## 1-Ⅱ 医学の限界を乗り越えさせた

「プロポリス」

城後 昭彦（城後外科院長）

日進月歩、医学は目をみはるような発展を遂げた。だが、いざ治療の面となると、特にますます増えつづける各種の難病や現代病に於ては、その限界を思いしらされることが決して少なくはない。

そんな中であって、どうかしてもっと治す法はないか？患者さんがもっと楽に闘病できる術はないか？と悩みつづけたあげくに巡り逢ったのが、健康補助食品プロポリスであった。そしてそのプロポリスが、現代医療の難点や盲点をカバーすることによって、見事に医学の常識を乗り越えさせた。

その図りしれない数の生理・薬理成分や多彩な作用については、既に薬理学的分析及び実験結果が次々と発表され、しかも日本が世界の先端を走っている。

私は、専らのその臨床の相談に応じて、症例数も1500人をはるかに越えた。そして、医師でさえ驚くべき好結果が続出し、あとを絶たない。

今回は、時間の都合でその極く極く一部しか紹介できないが、多種多様な病気に適合するプロポリスの不思議と特異性に焦点を当て、それを実証する医学的なデータと共に示す。

最後にこれ等を総合すると、基礎研究で証明されているプロポリスの活性酸素消去作用をベースとして、臨床的には全身細胞を活性化し、免疫能を高め、生命力と自己治癒力を強化することにより、病人が希望と勇気をもって闘病できるところにある。従って、プロポリスは現代医療を補助、活性化し、病人にとってはさらなる回復への光となり、一方、医療側にとっても安心して思いきった治療ができるという頼もしい起爆剤として活用する価値が充分あるといえる。